

事務事業名	女性団体活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連				
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課		
施策名	計画 15	市民参画によるまちづくりの推進		所属係	生涯学習班	課長名	野本 立一		
基本事業名	体系 45	地域づくり(まちづくり)人材の育成		担当者名	谷本 洋美	電話番号 (内線)	096-248-5555 1503		
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 01	事業	社会教育総務費			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 地域婦人会への補助金の交付 (業務の内容) 婦人会長からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して婦人会長からの請求書を受け、補助金を交付する。 (予算の内訳) 負担金補助及び交付金(344,000円)						総投入量	財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費	事業費計 (A)	0
							人件費	正規職員従事人数	
							費	延べ業務時間	
								人件費計 (B)	0
						トータルコスト(A)+(B)		0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

合志市地域婦人会(会員数250名)に対して344,000円の助成金を交付。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等

合志市地域婦人会

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

地域婦人会の活動を活発に行ってもらおう。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

まちづくりに参加する女性が増える。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 助成金の額	円



イ

ウ

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 地域婦人会の会員数	人



イ

ウ

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 婦人会活動に参加した市民の数	人



イ

ウ

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア まちづくり事業に参加した女性の数	人



イ

ウ

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	年度 (最終目標)
投入量	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	344	344	344	300	300	300
	事業費計 (A)	千円	344	344	344	300	300	300
	正規職員従事人数	人	3	3	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	112	112	112	112	112	112
	人件費計 (B)	千円	280	280	445	445	445	445
	トータルコスト(A)+(B)	千円	624	624	789	745	745	745
活動指標	ア	円	344,000	344,000	344,000	300,000	300,000	300,000
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	260	255	250	280	300	320
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	未集計	未集計	3,000	3,100	3,200	3,300
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	人	未集計	未集計	3,000	3,100	3,200	3,300
	イ							
	ウ							

事務事業名	女性団体活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
女性団体の活動支援を目的に始まったが、始まった年代は特定できない。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
地域婦人会に参加する女性は減少しており、旧西合志町はすでに団体としては解散しており、現在の構成員は旧合志町の女性が大部分である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
旧西合志町にも、かつての婦人会に属していた女性は多いので、再び女性団体に加入して再出発できるよう求める意見が、議員から出ている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 団体への支援を通して、積極的にまちづくりにかかわってもらうことで、政策と結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 まちづくりには、いろいろな地域や年齢の住民による協力が必要で、広域的な女性の団体に助成し、まちづくりに関わってもらうことは大きな力添えとなるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 適切である ⇒【理由】 現在、旧合志町の女性による団体であるので、旧西合志町にも同様の団体が出来るようであれば、対象となる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 女性団体の構成員が減少しつつあるため、より広域に、より数多くの会員保有への団体伸張を図ってもらいたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 まちづくりの大きなマンパワーを減退させ、団体の存続を脅かすことになる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 よほどのことがなければ、各種団体の運営に関与すべきではないので、とくに活動が積極的な団体の成果の向上は難しい。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 団体等への助成金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることも考慮しなければならない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 地域婦人会員は、まちづくりの意識が高く、公的な助成を受けている以上に積極的に活動しているので、公正さは保たれている。

合志市

事務事業名	女性団体活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

この助成事業によって、女性団体の力が「まちづくり」に寄与していることは間違いないが、合併前から旧西合志町には女性の組織がなかったため、今後全市的な結成の取り組みを図って、団体の伸張を図ってもらうこととしたい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

この助成事業によって、女性団体の力が「まちづくり」に寄与していることは間違いないが、合併前から旧西合志町には大きな女性の組織がなかったため、今後は旧西合志地域への団体の伸張を図ってもらい、全市の団体へと発展していくように仕向けて、さらに活発に女性の手によるまちづくり活動を行ってもらいたい。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

旧西合志地域では、十数年間婦人会活動が休止状態なので、組織化や活動意義の理解に時間を要すると思われる。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項